

Coro Espressivo クリスマス・チャリティ・コンサート
～「聖グレゴリオの家」活動支援のために～
Xmas Charity Concert

2017年12月21日(木)
18:30 開場 / 19:00 開演

■ 渋谷区文化総合センター大和田・さくらホール

JR渋谷駅(西口)より徒歩5分:案内図裏面

*駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい。

■ 入場料 ¥1,000-

* 収益すべてを、「聖グレゴリオの家」に献金させていただきます。



「コーロ・エスプレッシーヴォ」

指揮：池田 龍亮
伴奏：大竹 くみ

聖グレゴリオの家

「カペラ・グレゴリアーナ」聖歌隊

指揮：橋本 周子

「東京スコラ・カントールム」

指揮：福井 良太郎
伴奏：田中 理恵

「アンサンブル・アウラ」

指揮：石川 洋人

Photo : Aflo

■ 主な演奏曲目

◆ 「コーロ・エスプレッシーヴォ」

◆ 木下牧子のクリスマス・キャロル・メドレー
神の御子は今宵しも
Blessed be that maid Mary
ああ ベツレヘムよ
もうびとこぞりて 他

◆ 「カペラ・グレゴリアーナ」

◆ グレゴリオ聖歌 /
クリスマスの真夜中のミサ *Alleluia, Dominus Dixit*
クリスマス8日間中のミサ 聖家族 *Graduale, Unam peti* 他
◆ 混声合唱 /
H.M. Gorecki : *Totus Tuus* すべては あなたのもの 他

◆ 「東京スコラ・カントールム」

◆ Saint-Saëns : *Ave Verum*
◆ Mozart : *Alma Dei creatoris* 他

◆ 「アンサンブル・アウラ」

◆ Praetorius : *Preis sei Gott in der Höhe*
◆ Victoria : *O Regem Coeli* 他

◆ 合同演奏

◆ いのち
◆ ハレルヤコーラス (*Messiah* から) 他

主 催 / コーロ・エスプレッシーヴォ

協 賛 / 聖グレゴリオの家賛助会

客 演 / 聖グレゴリオの家聖歌隊「カペラ・グレゴリアーナ」

賛助出演 / 東京スコラ・カントールム

アンサンブル・アウラ

■ お問合せ

聖グレゴリオの家賛助会 事務局 / 042-474-8915

コーロ・エスプレッシーヴォ(池田) / 044-852-0225

東京スコラ・カントールム(淺海) / 080-6702-0274

アンサンブル・アウラ(北村) / 090-5753-5968

■ コーロ・エスプレッシーヴォ

1993年夏、群馬の榛名山麓にある社会福祉法人『新生会』の高齢者ホームに入居されている皆さんに歌をお届けするため、有志の合唱仲間が集まり、現地を訪問して演奏会を行いました。以来、この演奏会は毎年初夏の海の日の週末の活動として定着し、20年を超えた現在でも歌声ボランティア合唱団「コーロ・エスプレッシーヴォ」の活動の中心となっています。また東日本大震災の復興支援活動も活発に行っており、2012年から6年連続で、震災と原発被災に苦しむ福島県南相馬市、二本松市、郡山市等を訪問して、復興支援演奏会を行っています。

「聖グレゴリオの家」の活動支援のためのクリスマス演奏会は2010年から始まり、今年のチャリティ演奏会は早くも8回目となります。

団の名称「コーロ・エスプレッシーヴォ」は、“情感豊かに”という意味の音楽用語から採られ、私達の演奏の目標を示しています。



■ カペラ・グレゴリアーナ

聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所の研究部門の一つで聖歌隊とソリスト達による声楽アンサンブル「ファヴオリート」の二つの組織で構成されています。同研究所所長、橋本周子指導の下、グレゴリオ聖歌の古記譜法に基づく演奏の研究に力を注ぐと共に、ローマ・カトリック教会のみならずキリスト教他宗派の音楽や新たに作曲された曲などを、日々の典礼の中で実際に歌いながら、現代における宗教音楽の可能性を探ることを目的として活動しています。2008年、2011年、そして2014年7月と、継続的にハンガリーのヴァーツにおける国際グレゴリオ聖歌フェスティバルに出演し、高い評価を受けると共に、継続的にCD録音も行っています。

■ 東京スコラ・カントールム

1979年2月11日、教会音楽の研究、演奏を目的として創立されました。発足以来、一貫して「歌うことは祈ること」、「理解されるよりも理解する立場」を根幹として、チャリティーによる演奏会活動を目指し、青木洋也先生を常任指揮者に迎え、多岐にわたる教会音楽の演奏を続けています。年1~2回の教会を中心とした定期演奏会、音楽による奉仕活動等を行っています。なお、演奏会の収益金は主にキリスト教系社会福祉関連団体への献金、また、ドイツ音楽研修旅行や五島列島・南相馬市への巡礼の旅等音楽による奉仕活動を行っています。



■ アンサンブル・アウラ

2002年結成のアカペラ女声アンサンブルです。宗教音楽を中心に、石川洋人先生の情熱溢れるご指導のもと、基本である発声を根気よく行い、言葉を大切に、聴いて下さる方々の心に届く音楽を目指し、練習を重ねています。一昨年12月に、第4回演奏会をフィリアホールにて行いました。美しい響きの中にも、人間の持つ喜びや悲しみ、様々な感情までをも、皆様にお届けできればと思います。2018年に次回演奏会を予定しており、ビクトリアやカブリエルの作品にも触れつつ、更なるステップアップを目指します。



■ 聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所について

<http://www.st-gregorio.or.jp>

聖グレゴリオの家は、1979年9月に独立宗教法人として設立され、祈り・研究・教育という3本の柱から成り立っています。その目的は、祈り、典礼を祝いながら、教会音楽の研究、保存と普及、そして教育をすることにあります。この家は、ケルン大司教区をはじめ、創設者故グレオノン・ゴルドマン神父(フランシスコ会フルダ管区)を知るヨーロッパの方々の献金によって建設され、その後の運営もこの方々をはじめとする多くの方の援助と祈りに支えられて参りました。グレオノン神父亡き後この家の存続を心配し、理事長の役と日本との窓口となっていたグレオノン神父の布教事務所を引き継いで下さったのは、ドイツ・ミュンヘン・ベネティクト会ザンクト・オッティリエンのエレミアス・シュレーダー大修道院長でした。また2005年にはローマ教皇庁教育聖省によって、聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所とレーゲンスブルグ教会音楽・教育音楽大学との提携が認められ、それによって日本でもドイツの教会音楽家の資格を取得できるようになりました。さらにこの研究所は、世界を包含するカトリック教会の音楽伝統に結びつき、国際的修道会であるフランシスコ会やベネティクト会と密接に連携し、世界に通用する研究所であると認定されました。当初から宗教、宗派を超えて(エキユメニカル)相互の交流を大切にしながら、日本における教会音楽の可能性を追求しております。

聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所所長 橋本 周子

コーロ・エスプレッシーヴォ クリスマス・チャリティ・コンサート ～「聖グレゴリオの家」活動支援のために～

2017年12月21日(木)
18:30 開場 / 19:00 開演
入場料: ¥1,000-

※ 収益すべてを、「聖グレゴリオの家」に献金させていただきます。

■ お問合せ: 聖グレゴリオの家賛助会 事務局 / 042-474-8915
コーロ・エスプレッシーヴォ(池田) / 044-852-0225
東京スコラ・カントールム(浅井) / 080-6702-0274
アンサンブル・アウラ(北村) / 090-5753-5968



※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい。